

PTA通信



蕪崎工業高等学校
http://www.nirasakith.kai.ed.jp/
E-Mail: info@nirasakith.kai.ed.jp

2011.2.10 vol.7

《編集・刊行》
蕪崎工業高等学校PTA
《発行責任者》
PTA会長 荻原まゆみ

NewsPaper of PTA (Parent-Teacher Association) NIRASAKI TECHNICAL HIGH SCHOOL

『輝かしい未来のために』

蕪崎工業高等学校
PTA会長

荻原まゆみ



もうすぐ春が来て、3年生は卒業、1・2年生は進級することになります。3年生は、どんな3年間でしたか？希望と少しの不安を抱いて、蕪崎工業高校の門をくぐったことを、昨日の事のように思い出されると思います。それから、自分なりに努力して将来の自分のためにいろいろな「知識」と「技術」と「心」を身に付けてきた事と思います。それを、将来の日本を背負うために、存分に発揮してもらいたいと思います。毎日毎日を大切に生きていって欲しいと思います。

保護者の皆さまには、多くのPTA行事にご参加いただき、ありがとうございました。親が学校へ来ることを嫌う子どももいますが、親自身が率先してPTA活動をする姿を見せることで、子ども達にも、自分も頑張らねば、と必ず良い影響を与られると、私は信じています。子ども達には、まだまだ可能性がたくさんあります。これからも母校で学んだことを基盤に、輝かしい未来のために歩いていく姿を、温かく見守っていく保護者であって欲しいと思います。また、そんな蕪崎工業高校にするために、これからも保護者の皆さま方のPTA活動への温かいご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

キャン・ユー・スピーク 甲州弁？

～ PTA研修会 ～

広報委員 功刀 澄子

6月26日、五緒川津平太先生を講師に招き、PTA研修会が開催されました。

新聞で取り上げられたり、書店にも並んだりしているので、先生の名前を知っている方もたくさんいると思います。

「1番言いたいことは、甲州弁は標準語よりも優れている」と先生はおっしゃっていました。

例えば、「忘れ物を持ちに行く」と甲州弁では言いますが、標準語では「取りに行く」です。写真を忘れて家に「とりに行く」場合、写真を撮りに帰るのか、取りに帰るのか分からない、ということでした。その他にも、東西南北で道や家の場所を示したり、話し方で出身地が分かたりするそうです。(例えば、「つねる」の言い方など)

甲州弁は荒っぽいなどと言われますが、コミュニケーションが豊かになったり、温かみがあった



りと、先生の話聞き改めて感じました。

校長先生もおっしゃっていたように、我が子も「ごっちょ」も「つっぺえる」も意味が分かりませんでした。

先生も30年後には、甲州弁はなくなってしまうかも…とおっしゃっていました。皆さんも是非子ども達と、甲州弁でたくさん会話をしてみるじゃんけ。

■ 特集 ■ ■ ■ 意見交換から～行動へ ■ ■ ■

22年度「葦工活性化合同会議」の報告

PTA副会長 河西敏幸

右も左も分からないまま、4月にPTAの役員を引き受け、今まで様々な会議や活動に参加させて頂きました。その中の『葦工活性化合同会議』では、沢山の素晴らしさを実感させられました。『魅力ある学校づくり』をテーマに、先生・生徒・保護者の三者によって話し合いを行ない、それぞれの視点から色々な考えや意見などを聞くことが出来ました。

葦崎工業高校は保護者が一緒に参加できる行事がたくさんあり、生徒をととても身近に感じられる数少ない学校だと思います。先生方も熱心に生徒を指導して下さる姿がうかがえ、また保護者の方々も積極的に行事に参加されています。

あいさつ運動…あいさつをする生徒が増えた。遅刻ゼロチャレンジ…遅刻する生徒が減った、など。

一つ一つの取り組みは徐々に効果が出ているようです。特にこの2つは、社会人になっても大切なことなので、今後も是非継続してもらいたいと思います。

合同会議の中では、ここ数年で女子生徒も増えてきた為、女子生徒の部活動の見直しの必要性や、バイクの改造・違反・事故、また、携帯電話のマ



ナーなどについての討議を行ないました。それ以外にも生徒が困っていることの中では、下級生に呼び捨てにされるとの意見があり、我々の時代では考えられないことだと思いました。現在では昔よりも上下関係が薄くなってきているのかなと改めて感じさせられ、個人的には非常に寂しく思いました。(あくまでも個人的な思いですが…)

魅力ある学校とは…？ みんなに愛され、生徒が大きく成長でき、誰もが通いたくなる学校だと考えます。その姿を目指し、今後もいろいろな活動を継続して欲しいと心より願い、思春期の子供にふれあえる貴重な時を大切に頂きたいと思います。これからも皆様のご協力をお願いします。

甘利山登山強歩大会

保健委員長 近藤高史



“明日は、真冬並みの寒さ、防寒対策をしっかりして来る様に。”との心配をよそに、11月5日の甘利山登山強歩大会は、快晴の空の下、実施されました。樫池と甘利山頂上に分かれ、生徒達の健康観察と巡視を行いました。記録を狙う生徒、食料などを背中にしょってくる生徒、太い木の枝を杖にして登って来る生徒、それぞれの思いでゴールを目指していました。遠くに生徒の姿を見つけると、“頑張れ！もう少し！！”と先生方も保護者も自然と声をかけていました。途中の山道からは、富士山の雄大な姿も見ることができましたが、果たして何人の生徒がその素晴らしい景色を眺める余裕があったのでしょうか。ゴール後には、体の疲れと達成感と共に豚汁を味わって、強歩大会は終了しました。

あいさつ運動

生徒指導委員長 乙黒 清

「あいさつ運動」は生徒の登校にあわせて生徒会、PTA役員、先生方と一緒に「おはようございます！」と声掛けをします。ほとんどの生徒が小さな声であいさつをして通り過ぎていきますが、なかには大きな声であいさつをしてくれる生徒、逆に黙って通り過ぎて行ってしまふ生徒もいます。

身なりのきっちりとした生徒や、もう少し気をつけたほうが良いと思う生徒もいます。こんな風に素のままの生徒の姿を見ることができて、良い機会となりました。

さわやかな一日を送るための大切な「あいさつ」をしてくれる生徒が増えるように、これからも皆さんの協力で続けてほしいと思います。

皆さまのご協力、
ありがとうございました。



蕪工祭餅つき

PTA副会長（女性部長）3年 鶴田理枝

4月に新役員体制となり、女性部長を引き受けた日から、私にとって最大のプレッシャーは蕪工祭の餅つきでした。三年目とはいえ、一年目は何も解らずただ指示に従い、二年目は台風の影響で延期となり……同じ状況での経験がなかったので、どんなに事前準備をしても不安だらけのまま当日を迎える事となりました。生徒会の要望により、仕上がり時間が繰り上がったため、早朝の集合だったにも関わらず、多くの保護者の方々にご参加頂き、何とか時間までに全ての餅を仕上げる事ができました。私の準備は…ほとんど役に立たず、お手伝い頂いた皆様には大変なご迷惑をお掛けしてしまい、反省点ばかりなのですが、無事に行事を終えて振り返ってみれば、すべてが楽しく、よき思い出となりました。役員として三年間、学校行事に関わらせて頂いた事に感謝しております。



蕪工祭PTAバザー

女性副部長 鈴木佐知子

今年の学園祭は、天候にも恵まれ順調に行われました。

PTAによるバザーでは、多くの皆さまに来校していただき大盛況でした。当初はバザー一品がなかなか集まらず困りましたが、役員・保護者の皆さまのご協力で、数多くのバザー品が集まり、どうにか開催することができました。

一番人気は、何と言っても生徒による作品である「花置き」と「鉄板」です。次に洗剤セット1袋300円、産地直産品のぶどうや米など、本当にたくさんの品が集まり、開始から1時間であつという間にすべての商品が完売してしまいました。

毎年、地域の皆さまには、この活動には関心を持っていただき、開かれた蕪崎工業高校ということが実感できます。

これからも皆さまには蕪崎工業高校を支えていただき、魅力ある学校づくりの一つとして継続してほしいと思っています。



PTA活動を通して思うこと

PTA副会長 河西 徹

蕪崎工業高校のPTA活動は充実した内容になっています。PTA活動報告をご覧くださいとお分かりになるよう、4月から11月くらいまでが、主な活動時期になります。

なかでも、定期総会・PTA研修会・蕪工祭・甘利山登山強歩大会・あいさつ運動などをメインに活動し、大勢の役員・保護者の皆さま方のご協力により、無事活動を終えることができました。昨年の厳しい景気の中、仕事を休みPTAの活動

にご協力いただくなか、意義のある活動にしていかななくてはと痛感しています。また、一人でも多くの役員・保護者の皆さま方が、PTA活動に参加し、楽しみ、その中で生徒の活動もご覧いただいた上で、感想などを言っていただければ幸いです。

これからも楽しいPTAの活動にしていきたいと思っていますので、皆さま方のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

PTA活動報告 (抜粋)

- 4月 24日 **PTA総会/各学年部会 クラス懇談会 授業参観**
多数の保護者の皆さんが参加。昨年度事業・決算報告等、また今年度新役員や事業計画・予算の各案件等を全て承認いただきました。
- 5月 21日 **県高P連定期総会 (笛吹市スコラセンター)**
27日 **クラブ後援会総会**
- 6月 9日 **第1回蕪工活性化合同会議**
本校を活性化し、地域に親しまれる学校にすることを目的に「生徒代表」「PTA役員」「教員代表」の3者が一同に会して、話し合いを行いました。蕪工の未来像や今抱える問題の提起・意見交換で有意義な会となり、今後の継続開催を決定しました。
- 13日 **蕪崎工業高校同窓会総会 (本校文化ホール)**
26日 **PTA研修会**
「キャン・ユー・スピーク甲州弁?」の著者である五緒川 津平太(ごっちょがわ つべえた)先生による甲州弁にまつわる学習をしました。日常生活で何気なく口に出している甲州弁。都会で使うとなんだか田舎者で恥ずかしいという風潮があります。しかし今こそ忘れていたり、死語になりつつある甲州弁の奥深い意味を理解し、前向きに使いたいものです。山梨を土壌として発展した甲州弁を見直し、郷土を知り愛するきっかけとなりました。
- 7月1日~
9月 30日 **交通事故違反03ヶ月運動**
期間中の火・木曜日に生徒指導部の保護者にご協力を頂き、通学路での交通マナー・安全指導を教員と一緒に行いました。登校の様子を見ることができ有意義でした。
- 7月7日~
8日 **第56回関東地区高等学校PTA連合会 (神奈川大会)**
「飛翔(はばたけ)学び行動するPTA」をメインテーマにパシフィコ横浜を会場に開催されました。本校からは相原校長先生と荻原PTA会長の計4名が参加しました。
- 8月20日~
21日 **第60回全国高等学校PTA連合会 (東京大会)**
本校からは、相原校長先生と荻原PTA会長の計3名が参加。大会テーマ「人間力を育てて作ろう 大きな輪 ~家庭・学校・地域・社会心と心をつなげよう~」で日本武道館をメイン会場として活発な意見・情報交換が行われました。
- 9月 10日 **第2回蕪工活性化合同会議**
今年度の重点課題は「継続事項の再確認」となりました。
- 10月 7日 **PTA役員合同会議**
蕪工祭のPTA餅つき・PTA合唱団と甘利山登山強歩大会の豚汁作成及びPTAあいさつ運動の打合せ。
- 15日 **PTA餅つき (蕪工祭1日目)**
早朝より47名の保護者の協力により、もち米70Kg (15臼) 700食分を生徒、先生方や来校者の皆さんに食べて頂きました。開会式のイベントとして、ステージ前で3臼を相原校長先生、荻原PTA会長、清水武則クラブ後援会長を先頭に各クラスの代表者が杵を振りました。ほとんどの生徒が初体験で、満面の笑みがこぼれていました。
- PTA合唱団 (蕪工祭1日目)**
保護者と教職員合同で結成し、全校生徒の前で歌声を披露するために夜遅くまで練習をしました。今年の課題曲は「校歌」「わたしと小鳥とすずと」の2曲を披露し大きな喝采を浴びました。
- 16日 **PTAバザー (蕪工祭2日目)**
47名の保護者により商店が経営されました。開店前から行列が出来る程の盛況で、保護者の皆様よりご協力いただきました遊休品約750点は開店1時間で完売してしまいました。今年の売り上げは¥84,390円でした。改めまして、皆様のご理解・ご協力に感謝いたします。
- 11月 5日  **甘利山登山強歩大会 (豚汁)**
56名の保護者の御協力により、700食分の豚汁を作りました。ゴールした生徒や教職員に振る舞って大会を支援かつ盛り上げました。また、保健体育委員18名による監察・巡視を樫池と甘利山展望台で行いました。天候にも恵まれ、特に1年生の活躍が目立ちました。
- 13日 **高P連研修会 (東京エレクトロン蕪崎文化ホール)**
シンガーソングライターの しらいみちよさんによる「ムササビ君を助けて！」の講演会がありました。本校からはPTA役員中心に12名が参加しました。
- 15日~
19日 **PTAあいさつ運動**
寒さの厳しい中、各クラス委員長と生徒指導委員の延べ58名にて実施。朝の元気な声「おはようございま〜す！」で一日が始まります。
- 1月 21日 **第3回蕪工活性化合同会議**
重点課題実施の反省と次年度への課題提起。



《PTA定期総会》
多数の会員の参加のもと盛況に…。



《PTA研修会》
多数参加、皆さん真剣に聞き入って…。



《関東高P連大会》
会場前にて…。



《全国高P連大会》



《蕪工祭》
PTA合唱団の心を込めた合唱風景



《甘利山登山強歩大会》

編集後記

3年間広報の役につけ社会人一步手前の子供達と触れ合え貴重な時間を戴けました。そしてここにPTA便りの発行が出来感謝致します。本当にありがとうございました。

PTA広報部長 加藤真紀